

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	<b>2.4</b>	1.00			<b>2.6</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		<b>3.2</b>	0.40	<b>2.6</b>	0.40			
1 開口部遮音性能	(共用・病室)遮音等級性能:T-2。	5.0	0.40	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		2.0	0.60	1.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.4</b>	0.35	<b>2.0</b>	1.00			<b>1.6</b>
2.1 室温制御		<b>1.8</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1 室温		2.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.9</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.1</b>
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			
1 昼光率	(共用)昼光率:4.964%。(病室)昼光率:3.340%。	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		<b>2.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
3.4 照明制御	(病室)ベッド単位で照明制御ができる。	<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.6</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	建築材料は全てF☆☆☆☆を採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策			-		-			
4.2 換気		<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	(病室)自然換気有効開口面積は居室床面積の1/10以上確保。		-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.20		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-			
2 喫煙の制御	建屋内全館禁煙。	5.0	1.00		-			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.2</b>	0.40	<b>4.0</b>	1.00			<b>2.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性	(病室)1床室・多床室ともに10㎡/床以上を満たす。		-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応			-		-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観	(病室)天井高は2.5m。		-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-		-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>2.5</b>	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-			
3 衛生管理業務			-		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30					<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.5</b>	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート(更新必要間隔:20年) 壁:ビニルクロス(更新必要間隔:20年) 天井:ビニルクロスを使用(更新必要間隔:20年)	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	浴室排気等にステンレスダクトを採用。 冷媒:冷媒用被覆銅管(判断基準:C) 給水:塩ビライニング銅管(判断基準:B) 排水:耐火二層管(判断基準:B) Eを不使用。	4.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.0	1.00
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			断熱性能の高い建築材の採用。	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm 非住宅 0.83 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			高効率な設備機器の採用。	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			主要水栓の過半以上に節水型機器を使用。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			ODP=0、かつGWP≤1の断熱材を使用している。	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=86%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画。	4.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	